

海外研修旅行

～韓国ソウル2泊3日の旅～

10月7日(日)～9日(火)

今回は2年振りの海外研修旅行（10月7日～9日）「韓国・ソウル2泊3日の旅」を実施しました。羽田空港から約2時間20分のフライトで、ソウル金浦空港に到着。

「韓国の首都ソウル、『ソウル』というのは、固有の韓国語で『みやこ』という意味、1394年李氏朝鮮を立てた李成桂が都をここに移してから漢陽、漢城、京城、ソウルと名前を変えつつ600年間都を守ってきた。現在の人口は1,030万人弱だが、周辺の市を合わせた首都圏で考えると実に韓国全体の4分の1にあたる人口がソウルに集中している。」

ソウル金浦空港到着後（空港から市内までおよそ約40分）早速バスで、ソウル市内観光に出発、最初に訪れたのは、インサドギル（仁寺洞通り）を散策、メインストリートにはギャラリー、お土産屋さん、お茶屋さん、などの店がズラリ。次に訪れたのが韓国大統領府「青瓦台」、この近くには歴代大統領の写真等が掲げられている歴史館等を見学。次に600年の歴史を誇るソウル最古の市場、市民の台所と言われている「南大門市場」を散策、（日本でいえば、「アメ横」）



韓国大統領府「青瓦台」（テトンニョン）



「水原華城」

2日目は朝から快晴でお天気に恵まれ、ソウル郊外観光に出発、最初に世界遺産・水原華城見学、水原市の町を取り囲んだ全長5.8 kmの城で、現在も築城当時に作られた街路網が200年前の様子をとどめています。次に訪れたのは、韓国民俗村で約30万坪の背山臨水の吉相の地に位置する朝鮮時代の典型的な村を再現したテーマパークを散策しました。

最終日は朝食後、ソウル市内観光へ出発、最初に訪れたのは、世界遺産・昌徳宮で、1405年に太宗（3代王）が建てた朝鮮王朝第二の王宮を散策、次に訪れたのは、朝鮮時代の歴代王と王妃の神主を祀って祭祀を行う国家最高の宗廟を見学、午後は600年前から残る伝統家屋地区の北村韓屋村を散策、また商店が並ぶ明洞地区、ならびにロッテ免税店等で買物したあと金浦空港へ、帰国の途についた。今回は21名の参加を頂き有難うございました。



世界遺産「昌徳宮」